

わ せ だ ゆ き 早稲田夕季のひまわり通信

2009年2月 特別号 No.20

市議会2期目をめざして!

政治はあなたの声で変わります

◇ プロフィール ◇

1958年 (昭和33年)12月6日生まれ(50歳)	2005年 鎌倉市議会議員(1期)
1977年 白百合学園高等学校 卒業	総務常任委員長
1981年 早稲田大学法学部 卒業	一般会計決算等審査特別委員長 等
1981年 日本輸出入銀行 入行	現在 建設常任委員、議会広報委員
地元ミニコミ紙記者	家族 夫・長女・長男の4人家族(雪ノ下在住)



ベルの会会食でお手伝い



カトリック雪ノ下教会バザーで販売



民主党の街宣活動

鎌倉市議会議員を務めさせていただいて4年。振り返れば、ミニコミ新聞の取材を通して「大きな声は通っても、小さな声は届きにくい。声なき声に耳を傾けたい」という強い思いがありました。大石尚子現参議院議員に背中を押されて、まだ女性の市議会議員が少なかったこともあり、生活者として、母親の視点で市民の代表の一人として全力を尽くす決意をしました。

「政治はあなたの声で変わります。景観・文化・ひとを育むまちづくり」をこれからの活動テーマに掲げ2期目を目指します。一人の力でできることではなく、熱意と知恵を出し合って一緒に頑張りたいでしょう!



夏祭り 若宮大路で



今泉台自治会館・ご近所トークで意見交換



「いざ鎌倉 武者姿で集う会」を旗揚げ

「開かれた議会をめざす神奈川市民団体連絡会」による「議会活動報告」アンケート結果では、「特に早稲田夕季のひまわり通信は問題の掘り下げと読みやすさの両方でレベルが高い」と評価をいただきました。駅頭で声をかけてくださる方もだんだん増えて励まされます。

本特別号から裏面に、「早稲田夕季4年間の振り返り(Plan・Do・Check・Action)」をテーマとに連載します。

今月号20号「まちづくり」について
21号「教育・子育て」について
22号「福祉・行財政改革」について

日々の活動はブログにアップしています。

「鎌倉つれづれ」(<http://y-waseda1206.jugem.jp/>)

【連絡先】早稲田夕季 後援会 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-12-10 TEL&FAX 0467-24-9371(※)

ホームページ:<http://www4.ocn.ne.jp/~yuki12/> メール:himawari-yuki@quartz.ocn.ne.jp

※不在の場合は、留守電にお名前を入れて下さい

あなたの声をお聞かせ下さい!

早稲田夕季：4年間の振り返り (Plan・Do・Check・Action)

◆ 景観法を生かしたまちづくり ◆

解決すべき課題	早稲田夕季の提言	行政の現状	評価
世界遺産登録を目指すまちづくり方針の明確化 景観法を生かし100年後を見据えた鎌倉の景観形成、まちづくり	地域にふさわしい高さ(10m、12m)の基準を定める。 ・景観地区指定による一律15m(5階建)の建物の高さ規制だけでは、世界遺産を目指す町として不十分である。	北鎌倉地域での実現 ・北鎌倉景観地区の東地区で、地元の協議会によるルールづくりを進めている(建物の高さ12m、落ち着いた色合い、勾配屋根等)。 ・但し、県道はさんで両側の高さ規制が10mと12mでは寺町としての統一性がない。	😊
鎌倉らしい眺望を守り、古都に調和したまち並みのデザイン基準のルール化	道にあふれる看板や商品陳列の規制強化、景観の質の向上 ・早急な市屋外広告物条例の制定 ・建物の古都鎌倉デザインを公募・検討する。	・商店会や住民と協力して月に2度屋外広告物の巡回・指導を実施中 ・市屋外広告物条例を検討していく	😞
地域のシンボリックな建築物の保全や活用 景観づくりのためのNPOなどの育成し、文化拠点に活用する	まちかどミュージアムから鎌倉文化を発信 ・交付金を活用して華頂宮邸や御成小学校旧講堂などの保全に加えて、文化財展示室、音楽会など文化の拠点として有効活用する。	・華頂宮邸は庭園公開(週5日)、年に4日の建物公開のみの暫定利用(借地料を含む平成19年度管理運営費は1,800万円)。 ・御成小旧講堂については学校用地であり、老朽化もあり利用計画は未定。	😞

◆ 観光都市としての基盤整備 ◆

解決すべき課題	早稲田夕季の提言	行政の現状	評価
主要駅のバリアフリー化と駅前広場の整備	早急な鎌倉駅西口の整備 ・鎌倉の玄関口らしいデザインで、バス停、公衆トイレ、駐輪場、観光案内所などを設置。 北鎌倉駅北口の開設と駅舎のバリアフリー化を要望 ・北鎌倉駅北口開設を求める陳情も採択(H16.2)されているので、安全とバリアフリー化の観点から駅舎の改修が必要である。	・観光客があふれる鎌倉駅西口周辺整備は遅れている。 ・北鎌倉駅舎のバリアフリー化は平成22年度に実施予定であるが、JRとの協議で北口開設は困難。	😞
安全で楽しい「歴史の道」、「文学の道」などの散策路の整備 電線の地中化 公衆トイレの増設・美化 歩道のバリアフリー化	まず小町通りで電線地中化実現、公衆トイレの増設を要望 ・老朽化した寺社や海岸のトイレの改修、商店会に協力を求め、ビルのトイレの借り上げなど低コストの取り組みを提案した(例：鎌倉駅東口のトイレ改修費は2,800万円、借り上げの由比ガ浜大通りトイレは年額130万円)。	・小町通り無電柱化は平成23年度までに実施する。 ・民間ビルの公衆トイレ借り上げは由比ガ浜大通りで実現、毎年2カ所ずつ既存のトイレを改修する。	😊
鎌倉ゆかりの文化財、美術品などを展示する複合施設の整備	野村総研跡地の美術館・博物館については、民間活力、プロデューサーの登用を提案	・博物館・美術館の各検討委員会で協議しているが、財源不足、民間事業者の参画など課題があり、進行が遅れている。	😞
放置自転車のない歩きやすいまちづくり 通勤・通学用以外にも一時利用の駐輪場を増設する。	鎌倉駅西口に駐輪場増設を要望 ・買い物時や塾通いに利用できる駐輪スペースを確保する。	・駅周辺の未利用地の活用を検討していく。	😞